

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公開番号】特開2007-121394(P2007-121394A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-309648(P2005-309648)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/10 (2006.01)

G 0 3 G 15/11 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/10 1 1 2

G 0 3 G 15/10 1 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月3日(2008.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー粒子とキャリア液とを含む液体現像剤を貯蔵する現像剤貯蔵部と、

前記現像剤貯蔵部に貯蔵されている前記液体現像剤を供給する現像剤供給部と、

前記現像剤供給部にて前記液体現像剤が供給され、現像バイアスが印加され、硬度JIS A 30~50度の弹性層、及び前記弹性層に被覆された該弹性層よりも摩擦係数の低い表面層を有する現像剤担持体と、

前記現像剤担持体にコンパクションバイアスを印加する電界印加部と、

前記現像剤担持体に当接し、該現像剤担持体に担持された液体現像剤を除去する現像剤担持体クリーニングブレードと、

を有することを特徴とする現像装置。

【請求項2】

前記表面層は、厚み3~5μmになるようにコーティングされた樹脂層である請求項1記載の現像装置。

【請求項3】

前記表面層は、厚み3~10μmのチューブが嵌装されたものである請求項1記載の現像装置。

【請求項4】

前記被覆層は、硬度JIS A 35~55度のフッ素樹脂、もしくはナイロン樹脂である請求項1ないし3のいずれか1項に記載の現像装置。

【請求項5】

前記現像剤担持体クリーニングブレードは、硬度JIS A 60~100度のゴム部材である請求項1ないし4のいずれか1項に記載の現像装置。

【請求項6】

前記電界印加部材は、前記現像担持体と当接するローラ部材であり、

前記ローラ部材に印加される前記コンパクションバイアスは、前記トナー粒子の帯電極性と同極性であり、かつ前記現像バイアスよりも高い請求項1ないし5のいずれか1項に記載の現像装置。

**【請求項 7】**

前記電界印加部材は、コロナ帯電器である請求項 1ないし 5のいずれか 1 項に記載の現像装置。

**【請求項 8】**

像担持体と、

前記像担持体を帯電させる帯電部と、

前記帯電部で帯電された前記像担持体を露光する露光部と、

トナー粒子とキャリア液とを含む液体現像剤を貯蔵する現像剤貯蔵部、前記液体現像剤を供給する現像剤供給部材、前記現像剤供給部材により前記液体現像剤が供給されるとともに、硬度 J I S A 3 0 ~ 5 0 度の弹性層及び前記弹性層上に被覆され該弹性層よりも摩擦係数の低い表面層を有する現像剤担持体、前記現像剤担持体にバイアスを印加する電界印加部、及び前記現像剤担持体に当接して該現像剤担持体に担持された液体現像剤を除去する現像剤担持体クリーニングブレードを有する現像部と、

前記現像部で現像された像が転写される転写部と、  
を有することを特徴とする画像形成装置。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**発明の名称

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【発明の名称】**現像装置及び画像形成装置